

質問書に対する回答

件名) 横浜新道 新保土ヶ谷 I C ~ 川上 I C 間付加車線工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	数量総括表 (4) 16-(7) 路面標示工 路面標示標準型B1(夜)について	数量総括表の掲載値が正であれば、設計図【舗装工】20/82路面標示工詳細図(4)最下段の「外側線 実線白色W=20cm(路面標示標準型B1(夜) L=350m)」は距離程5+150付近~5+550付近となるので、「外側線 実線白色W=20cm(路面標示標準型B1 L=350m)」と表記されることになると考えます。数量表と図面表記が不一致ではないでしょうか、詳細をご教示ください。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
2	数量総括表 (4) 16-(7) 路面標示工 突起路面標示B1-1(夜)について	上記同様、数量総括表の掲載値が正であれば、設計図【舗装工】20/82路面標示工詳細図(4)最下段の「外側線 実線白色W=20cm(路面標示標準型B1(夜) L=350m)」は「外側線 実線白色W=20cm(路面標示標準型B1 L=350m)」と表記されることになると考えます。詳細をご教示ください。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
3	数量総括表 (4) 16-(8) 視線誘導標 A3-3数量について	数量表の掲載値は62ですが、設計図【舗装工】14/82では数量7が確認できるので数量表の計上5は誤りで、合計値は64が正と考えますが詳細をご教示ください。	設計図【舗装工】14/82に示すとおり、視線誘導標A3-3の数量は4基と1基で5基となります。
4	設計図【遮音壁・雑工】 22/53, 23/53に記載のSP-P. C. G-3. 00(d)-160. 0(A=0. 084m ² /m)、Rw-Cb(W)(d)-5. 6(A=0. 980m ² /m)について	単位体積表示が m ² /mとありますが、m ³ /mが正ではないでしょうか。詳細ご教示ください。	設計図【遮音壁・雑工】22/53~24/53におけるA=○○の表記は断面積を示しています。
5	設計図【遮音壁・雑工】 22/53, 23/53に記載の Di-L-2. 00(d)について	Di-L-2. 00(d)は単位体積は0. 8m ³ /mが正と考えてよろしいでしょうか。詳細ご教示ください。	Di-L-2. 00(d)の単位体積は0. 8m ³ /箇所となります。

6	数量総括表 (6) 18-(17) 構造物等取壊し工のり面吹付取壊し(TypeA) について	のり面吹付取壊しは(TypeA)30.2m ² と表記されていますが、設計図【擁壁工 下り線】27/27にはTypeBと表記されています、いずれが正かご教示ください。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
7	計画図【契約参考図書】6/25「Ds-St φ 0.30-57.4」について	計画図6/25の「Ds-St φ 0.30-57.4」は数量表が正なら「Ds-St φ 0.30(B)-57.4」57.4が正ではないか、詳細ご教示ください。	率計上項目に関する事項は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けておりません。
8	入札公告(説明書)4-2. 技術評価の評価項目等	鋼管杭施工における、供用中路線の走行車両に対する安全管理について質問させていただきます。ここで示す「鋼管杭施工」とは、擁壁工の鋼管杭(φ1,000mm)のみを対象とされているのでしょうか。それとも、遮音壁の鋼管杭(φ355.6mm~φ558.8mm)も含まれるのでしょうか。	擁壁工の鋼管杭(φ1,000mm)のみが対象とお考えください。
9	入札公告(説明書)4-2. 技術評価の評価項目等	コンクリート防護柵施工の供用中路線の走行車両に対する安全管理のうち、追越車線規制内における施工時の安全対策に関して質問をさせていただきます。ここで示す「施工時」とは、既設コンクリート防護柵の撤去作業も含まれるのでしょうか。	そのとおりお考えください。